

セーフティ通信

降雪・凍結期における事故防止 (輸送の安全確保の徹底)

各地区トラック協会、各会員事業所の皆様の交通事故防止に関するご努力、心から感謝申し上げます。

平成27年9月21日から平成27年12月20日までの間、「プロが示す交通安全運動」が展開されておりますが、期間中の重大交通事故の発生はありません。

本年の事業用貨物自動車の死亡交通事故は、11月10日現在で10件10名となっており、昨年同時期と同数となっておりますが、決して減少している訳ではありません。

また、飲酒運転も無くなってはおりません。

本年10月に会員事業所のドライバーが酒気帯び運転で検挙されているほか、砂川警察署の警察官が二日酔い(酒気帯び運転)運転で摘発されており、飲酒運転は、まだまだ根深く残っております。家庭、職場から目を光らせて飲酒運転の根絶を図りましょう。(二日酔い含む)

さて、これからの時期、ドライバーの皆様にとって、運転環境が一層厳しくなる時期であり、スリップ等による冬型の重大交通事故の発生が非常に高くなることから、体調管理は勿論、急発進、急加速、急ブレーキ、急ハンドル等の「急」の付く運転をしないことが大事です。

【運行管理者の皆様】

- 対面点呼によりアルコール検知を確実に実施する。
- 休憩・仮眠時における飲酒及び乗務中の飲酒は絶対させない。
- 勤務状況・過労の程度を適切に把握することは勿論、冬期の交通・天候情報を把握する。
- 基本的な交通ルールとマナーの指導教育及びドライブレコーダー等により、運行状況を把握する。
- デイ・ライト運動に積極的に参加して、安全意識の高揚を図る。

【ドライバーの皆様】

- 積雪・凍結道路を想定し、タイヤチェーンの携行、早め装着を実施する。
- 道路、気象状況等に応じた安全速度の遵守、車間距離を確実に確保する。
- ちょっとした上り・下り坂、跨線橋の上、橋梁の上、トンネルの出入り口、交差点では特に注意すること。

我々、運送業界は、これから年末・年始まで繁忙期となり正念場であります。

デイ・ライト、「目立って、見せて事故防止」、無事故で乗り切りましょう。